

Group Exhibition

“どこから来てどこへ行くのか”

石川祐太郎 / 上野聖人 / Shota Mitsuoka

2024/11/23 - 12/22

Marco Gallery 1F



メインビジュアルデザイン YANAGIBASHI lab.

この度 Marco Gallery ではグループ展 “どこから来てどこへ行くのか”を開催いたします。

本展では、coconogacco をはじめファッションエリアを背景に持つプレイヤーと、アートエリアの背景を持ちつつファッションエリアへのベクトルを感じられるプレイヤーによる構成となっております。

ぜひご覧ください。



【展覧会ステートメント】

最近洋服捨てましたか？

Fashion—消費という関係性は、よく言われることではないかと思います。

ある番組での「今日流行ったものも明日には消える」という名ゼリフや、Old is New という言葉に見られるように、過ぎ去っては戻ってきて、また過ぎ去っていきます。そして、そのサイクルが加速しているのは、きっと多くの人が体感しているのではないのでしょうか。

本展では、濁流のようなこのサイクルの中で洋服と人間との間にあるストーリーに目を向けてみたいと考えています。はたして、日常の中で最も身近なものである洋服には、私やあなたならではの、洋服との時間が刻まれ、そこではストーリーが紡がれているのだろうか。

もしもそうだとすればどのようにしてそれは紡がれ、どんな未来を辿っていくのか。ひとたび、私との間にストーリーをまとった洋服は、量産されたものから唯一のものへと姿を変える。

量産物ばかり溢れるこの時代において代えの効かないものとは、何か。そして、それはどうして代えが効かないのか。洋服とそれにまつわる人間とのストーリーという角度から、代替可能なものに溢れる時代を目の前にして私たちはどうしていこうか。

そのようなことを我々自身が検討しつつ、鑑賞者に対して投げかけ、思いもよらない思考のアクセルがかかることを期待しています。

どこから来てどこへ行くのか

2024.11.23(sat) - 12.22(sun)
13:00-18:00 (Lastday - 17:00)
closed Monday & Tuesday

from where to where

石川祐太郎 Yutaro Ishikawa

Marco Gallery

〒542-0081 大阪市中央区
南船場4-12-25 竹本ビル1F

@marco_gallery_osaka_japan
@marco_gallery_shop

御堂筋
FREITAG
COMME des GARÇONS
出口
セブンイレブン
りそなATM
長堀通り
心斎橋駅

上野聖人 / Kiyoto Ueno

Shota Mitsuoka

撮影: 柳場 大





【アーティスト】

石川 祐太郎 / Yutaro Ishikawa

石川祐太郎は、少年期をアメリカで過ごし、東京でファッションを学んだ後、2018年より制作活動を開始しました。石川の作品において、重要なマテリアルとなっているものの一つが、衣服です。

“着る”という目的以外の側面に興味があるという石川がまず着目したのは、「衣服についてにおい」です。

香水や煙草など、所有者の存在を感じさせるにおいが染み付いた衣服は、パーソナルな記憶の象徴であると考え、ワックスで固形化することでにおいを閉じ込め、カーヴィングを施し、立体作品に昇華した作品を発表しました。

以降、2023年5月にLAID BUGで開催したソロエキシビジョン「Punch-Drunk」では、シグネチャーとなった衣服とワックスを用いた手法を拡張させ、自身初となるインスタレーション作品を発表。

2024年2月に西麻布WALL_alternativeで開催されたグループ展「Saturday Night Once More」ではドローイング作品を発表するなど、新しい表現にも意欲的に取り組んでいます。



石川祐太郎 | Spike Ball | 2024 | Nylon fabric, Cowhide leather, Polystyrene beans, Mixed media | 1890 × 950 × 1890mm

【CV】

Selected solo exhibition: [2024]

GHOST, LAID BUG, Tokyo [2023]

Punch-Drunk, LAID BUG, Tokyo, [2022]

Non-title, flotsam books, Tokyo Selected group exhibition: [2024]

The Value, CICA Museum, Korea [2024]

Saturday Night Once More, WALL_alternative, Tokyo [2024]

Nike Field General “82-24”, adan, Tokyo [2023]

An increasing black dent in the night sky, Spas Setun, Digital [2023]

SYUMAN. 2023/24AW collection, Feb gallery Tokyo, Tokyo [2022]

PXXX?, PARCO NAGOYA, Nagoya, Japan [2022]

P.O.N.D, PARCO MUSEUM TOKYO, Tokyo [2022]

Wow!! by Midorikawa, VELVET, and BACKDOOR, Nagoya, Japan [2022]

coconogacco exhibition 2022, FUJIHIMURO, Yamanashi, Japan [2021]

LET'S GO OUTSIDE by GANNI, Copenhagen, Denmark [2021]

Decomposition of creation, FUJIHIMURO, Yamanashi, Japan



石川祐太郎 | Garment Case (Blonde) | 2024 | Canvas, Synthetic hair, Mixed media | 1350x610mm



上野聖人 / Ueno Kiyoto

2000年 埼玉県生まれ

2023年 武蔵野美術大学 造形学部彫刻学科 卒業

2024年 東京藝術大学大学院 美術研究科修士課程彫刻専攻 在籍

「中性的な人とは何か」を起点として、人の身体性や装飾することでの変化、二元的な性質に着目し、主に樟木を用いて人の認識を揺さぶる彫刻を思索し制作している。

日常に溶け込む要素と伝統的なスタイルを掛け合わせることで生まれる曖昧さや違和感に注目し、性別だけに囚われない"中性"として捉え直す。多様化された現代では、"もの"を見ることでルールや既成概念を見つめ直すきっかけを与えることが重要であり、そのきっかけを彫刻が担えるように挑戦している。

【CV】

2024年 「a hue and cry.」 (アートカビーフンカ白厨/東京)

2023年 二人展「今日この頃の善悪」(Art Center Ongoing/東京)

2023年 「2022年度 東京五美術大学卒業・修了作品展」(国立新美術館/東京)

2023年 「2022年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作 優秀作品展」(武蔵野美術大学/東京)



上野聖人 | 2023 | Neuter(rs) | 樟木、岩絵具、膠、鉄

H2020 × W660 × D920(mm) | 撮影 柳場 大



Shota Mitsuoka

なぜ作品を作りたいか。自分にとってそれは何を意味するか。

自分が探求していることはなにか。

僕の創作に対する思い。

世の中にプロダクトは溢れている。

それでも作りたい。

自分がこの世界に生きている証明。

私の存在そのものの痕跡。

創作をして自分がここにいた証明をしたい。

模索している。

どこかで常に、「他の人とは違うことをしたい」と思っている自分

自分の生活を豊かにする

衣服は道具でありながら道具に収まらない。

日常的に毎日使用する。

僕は毎日少しでも違う服を着たい。違う着方をしたい。それは小さくても簡単に日常を変化させることができる方法。

日常で使える機能と経験から生まれる個性を製品に反映したい。

その二つを持って私がここにいたことを証明したい。

私にとってはそれが新品であれ中古であれ気にしない。ただ目の前にあるそれにときめくかどうかである。

創作物は他者とのコミュニケーションを図るもの

自分にとってときめく服とは。

抽象的に言うとびびっとくる服。

挑戦的。

ただただ便利な道具でない物を目指している。

useful な物を作りたい。

なんてことのない日常を観察し、そこから私にとってより意味のある要素を抽出。それをヒントにし、創作に投影する。

特別な場所に行かなくとも、すでに身の回りには素晴らしい色が広がっている。

量産されたらその価値が薄まるのか、

薄まるべきではない。自分のためにその作品、製品を使用するのだから。

幻想ではない地に足のついた今を生きるデザインがしたい。



Group Exhibition “どこからきてどこへいくのか”



どこから来てどこへ行くのか

2024.11.23 (sat) - 12.22 (sun)
13:00-18:00 (Lastday - 17:00)
closed Monday & Tuesday

from where to where

石川祐太郎 / Yutaro Ishikawa

上野聖人 / Kiyoto Ueno

Shota Mitsuoka

撮影: 柳澤 大

Marco Gallery

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-12-25 竹本ビル1F
@marco_gallery_osaka_japan
@marco_gallery_shop

出展作家：石川祐太郎 / 上野聖人 / Shota Mitsuoka

開催日程：2024年11月23日（土）～12月22日（日）

営業時間：13:00-18:00

定休日：月、火

会場：Marco Gallery 1F

お問合せ：info@marcoart.gallery

大阪府大阪市中央区南船場4-12-25 竹本ビル1F,3F,4F

Takemoto BIDG 1F,3F,4F 4-12-25 Minamisenba Chuo-ku, Osaka City, Osaka, Japan

Tel: +81 06-4708-7915 E-mail: info@marcoart.gallery

